



豊川市 P 連

平成 29 年度

## ネット接続機器に関する 保護者意識アンケートの結果について

豊川市小中学校 PTA 連絡協議会

### アンケートの実施 (H29.10~11 月)

小4保護者	584人 (抽出率 40.2%)
小6保護者	668人 (抽出率 41.0%)
中学保護者	901人 (抽出率 18.6%)
合計	2153人 (抽出率 27.2%) (市内全家庭数の 16.9%)

### アンケート項目

1. 機器の使用に関する家庭の方針や考えはあるか
2. 機器の使用に期待することは
3. 機器の使用で心配なことは
4. 意見

豊川の親はしっかりとした考えをもっている。  
子どもとの「連絡手段」として使わせたいが、  
(ネット利用による)  
「使い過ぎ」や「トラブル」を心配している。

### 昨年度の調査結果より

スマホ等所持率	ネット使用率
小4 : 22.8%	小4 : 83.0%
小6 : 25.2%	小6 : 83.9%
中1 : 34.5%	中1 : 80.3%
中3 : 42.2%	中3 : 81.3%

### 市 P 連では

「市内統一事項」の徹底と  
「わが家のルール作り」を進め、  
成長に合わせた段階的使用を通して  
正しい情報モラルの習得  
健全な生活リズムの確立  
のための態勢作りに努めています。

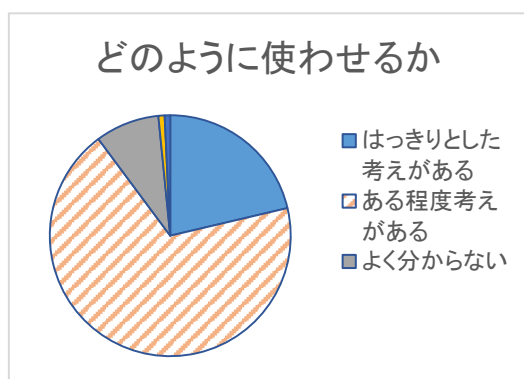
平成 30 年 3 月

## 保護者アンケート結果

### 1 家庭での考え方や方針について

ネット接続可能な携帯機器の利用について、家庭での考え方や方針を尋ねるとほとんどの家庭で考え方や方針がある。

- 使わせ方について「はっきりとした考えがある」家庭が約2割（21.3%）。
- 「ある程度ある」を含めると約9割（89.8%）の家庭が、何らかの考えをもっている。



【どのように使わせるか】

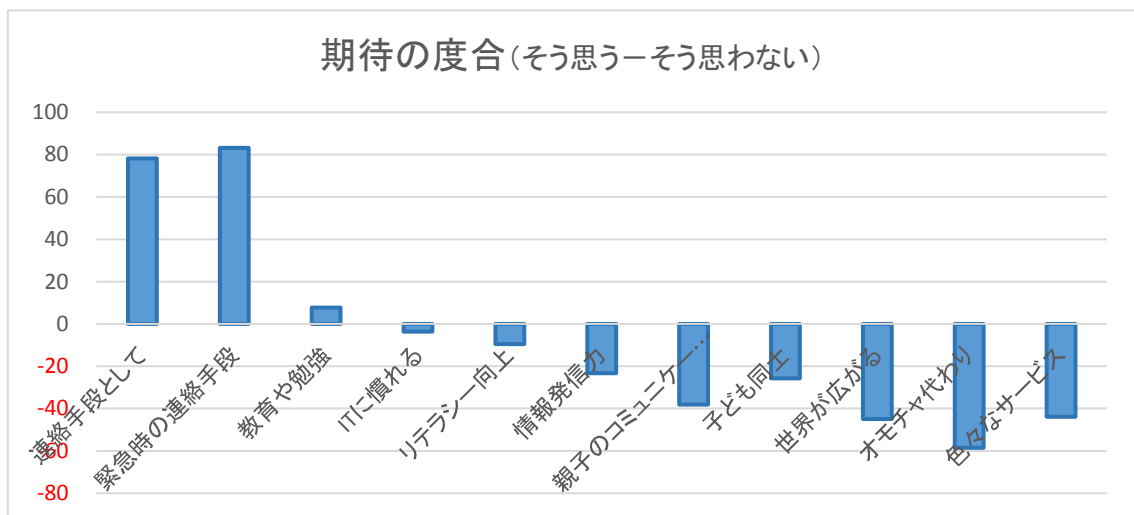
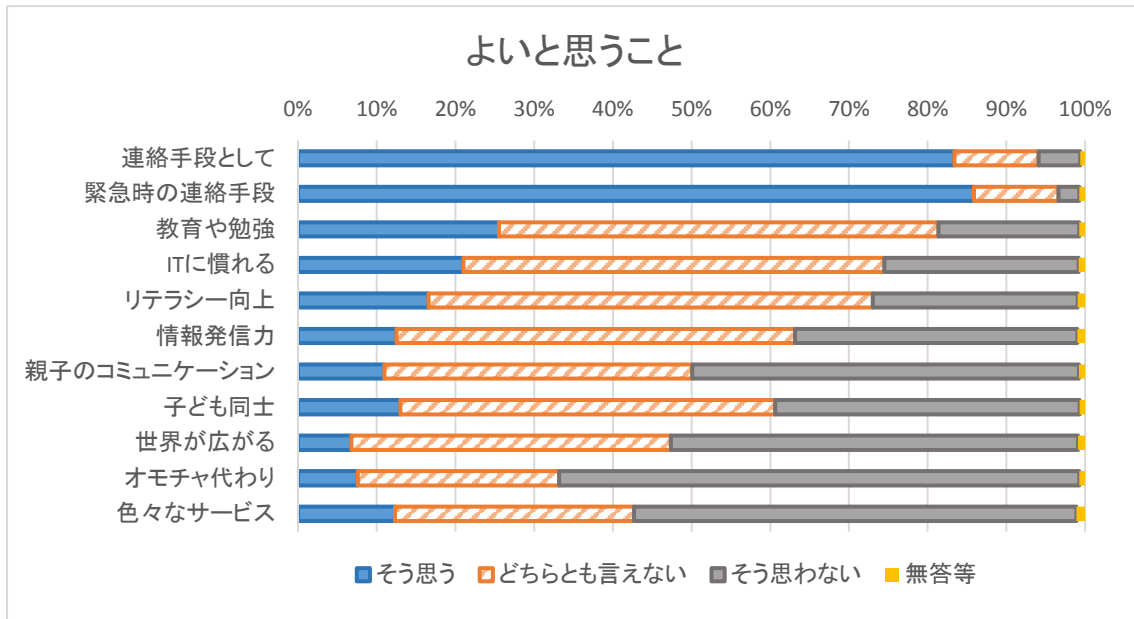
はっきりとした考えがある	21.3%
ある程度考えがある	68.5%
よく分からない	8.6%
使い方は構わない	0.8%
無答等	0.7%

### 2 よいと思うこと、便利だと思うこと

ネット接続可能な携帯機器を使用することのメリットを尋ねると

肯定的な回答は「連絡手段」で、他にはあまり期待していない

- 「災害や緊急時の連絡手段として役立つ」（85.9%）  
「塾のお迎えなどの連絡手段」（83.4%）がトップ2。  
どちらも8割を超えているが、他は25%以下。
- 「どちらとも言えない」との回答も多い。「情報リテラシーの向上」（56.4%）「教育や勉強に役立つ」（55.8%）「IT機器に慣れる」（53.8%）などは5割以上が懐疑的である。
- 連絡手段以外では、「そう思わない」と否定的な回答が多く、「そう思う」から「そう思わない」ものを差し引いた「期待の度合」はマイナスになっているものがほとんどである。



○その他、こんなことに役立つ (自由記述より)

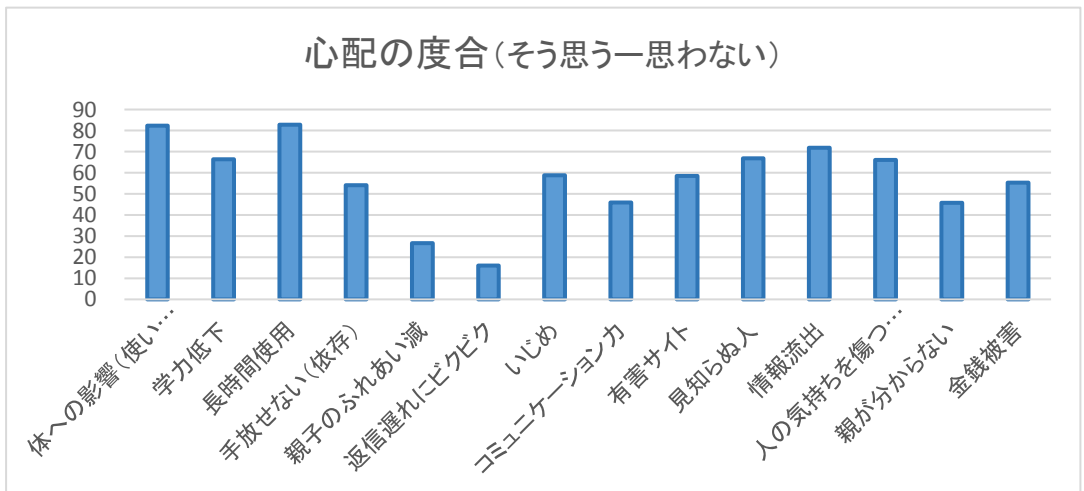
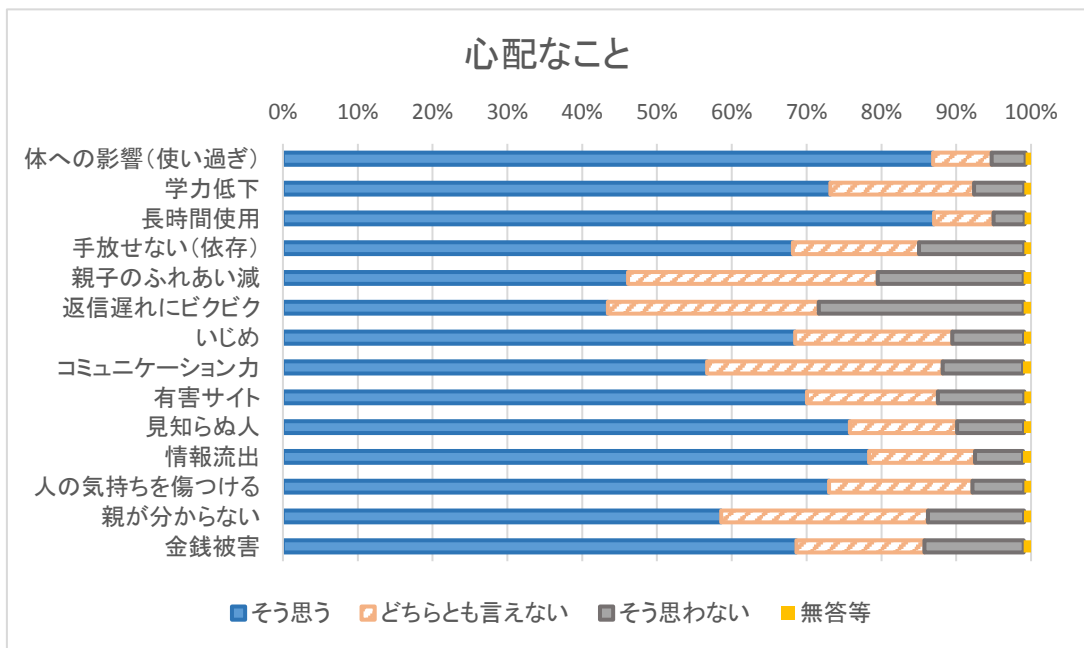
- ・ リアルタイムの情報取得 (外出時の調べ物等)。
- ・ GPS で子どもの居場所を知る。
- ・ 耳の聞こえない両親との連絡手段。
- ・ 一括配信。
- ・ メールなどで交換日記のように使う。親と一緒に遊べるツール。
- ・ 将来の仕事や友人関係作りなどのための訓練。
- ・ メディアとの付き合い方を学ぶことができる。

### 3 困っていること、心配なこと

ネット接続可能な携帯機器を使用することのデメリットを尋ねると

「長時間使用」や「使い過ぎ」が心配事のトップ、次いで「情報流出」などのトラブルが続く

- 「いつの間にか長時間使用になってしまう」(87.0%)、「使い過ぎによる寝不足や視力低下など身体への影響」(86.9%)がトップ2で9割近い。
- 「個人情報などの流出」(78.4%)、「見知らぬ人とのやり取りからのトラブル」(75.8%)が続く。
- 「そう思う」から「そう思わない」ものを差し引いた「心配の度合」は、いずれの要素もプラスである。



#### ○その他、こんなことが心配（自由記述より）

- ・ 自分で考える力（思考力）の衰え。
- ・ 時間をかけて調べたり、自分の足で動くことが少なくなる。
- ・ ネット情報を当てにしすぎ、自身の判断力のない人になる。
- ・ 読書や辞書をひくことをしなくなった。
- ・ 楽な方に流れ、面倒くさいことを嫌がるようになった。
- ・ 言葉が貧弱になり、会話力が弱まる。文字を書けなくなる。
- ・ 中身の無い言葉を多用する軽薄な人間になる。

## 4 その他

### 自由記述部分からの意見の抜粋

携帯機器の便利さの反面、便利さゆえの弊害を心配する声が多い

その他の意見では

「ルールや約束事」を定め、「親の関与が必要」との声

「連絡手段ならスマホでなくても」、「持たせる必要はない」との声

「持たせること」「持たせないこと」への迷いや不安の声

「情報モラル教育について」などがあった

#### その他の意見

##### ・ 親の関与が必要だという声

- 親がしっかり管理することが大切だと思う。それができないなら持たせるべきではない。
- 長時間使用、食事中的使用等はその都度注意し、課金や情報管理等は徹底して教えたので心配していない。これからも継続して管理することが必要。
- 本人用を持つ前に、注意して話し合うようにしています。必ず使っていくものなので上手に機器とも人ともつながっていければと思う。
- どんな機器も基本は生活ルール、けじめ、思いやり等自分自身がしっかりしていれば問題ない。あとは本人に任せている。

##### ・ ルールや約束事に関する声

- 持たせるならしっかりと約束事を決めるべきであって、守れば間違いは起こらない。
- ルールがだんだんルーズになる。イライラしやすくなった気がする。

- 使わせないと考えていない。ルールや親子のコミュニケーションの中で、心配だということについては解決していきたい。
- 市内統一事項を学校から強く推奨して欲しい。あまり浸透していないのではないかな。市内統一事項の夜9時は早すぎないかな。
- 今は決めたルールを守っているが、そのルールも年齢にあわせ、どのように変えていくべきか迷っている。

#### ・ 連絡手段ならスマホやネットでなくてもという声

- 塾などのお迎えの連絡手段として、こども携帯があれば十分だと思う。どうしても持たせるなら電話とメールのみでいい。
- 年齢にあわせて使用方法を考えたい。通話程度にして、調べ物などは自宅のPCで行わせる。
- キッズ携帯等制限のついた携帯であれば心配も少ないと思う。
- 無くてもよい。電話を借りたり、テレカで電話してもよい。

#### ・ 持たせる必要はないという声

- 小中学生には必要ない。百害あって一利なし、
- 今は言葉と表情で素直な気持ちを伝えることを学んだ方がいいと思う。スマホのない生活を望む。
- 精神的に未熟な子ども達に、大人が使って便利だからといって与えるのはあまりに軽率だと思う。
- 小中学生が親の管理下でないネット環境にやすやすと入れることに反対です。

#### ・ 持たせることへの迷いの声

- 緊急時の連絡には役立つので、必要かと思ったり、どのような持たせ方がよいのか。例があれば参考にしたい。
- いずれかは持たせる時がくる。親が考えているタイミングはあるが、たぶんそれより早くに与えなければならなくなりそうな現実が悩ましい。
- LINEの内容などを見るよと伝えてあるが、「みんなロックしてるよ」と言われて、個人を尊重すべきか悩んでいる。
- 共働きで、持たせた方がいいのかとも思うが、ゲームでもルールが守れないので、持たせることに不安がある。

#### ・ 持たせないことへの不安の声

- 各家庭の考え方に違いがあり、スマホを持たせないと言う方針を通すことに難しさを感じる。
- 周りの子達が持っているのに、自分の子だけが持っていないことで、いじめの対象になることを心配している。

- 部活の連絡メールだとか、持たないことで仲間はずれにならないかという不安を感じている。
- スマホを持たせないと友人関係が築けないとの指摘を聞くが、機器がないと保てない友人関係は始めから必要ないのではないかと、最近の子ども達を見ていて思う。

#### ・ 情報モラル教育に対する声

- 親子での情報モラル授業を開催して欲しい。
- スマホやネットの使い方について、教育現場でタイムリーな話題を取り上げながら、子ども同士話し合えるといい。
- うまく付き合う、活用する指導を増やして意識を高めるしかない。親も学校もメディアも行えると良い。
- 中学に入ると携帯を持つ子が多くなる。正しい使い方、トラブルの原因を小学校の間に授業で取り上げて欲しい。
- 分からない部分も多く、時代の流れに合った決まりや情報を学校から発信していただけるとありがたい。

#### ・ その他の声

- 先生が子どもの前で携帯を出すのは良いことだとは思えない。
- 学校行事の写真や塾の懇談会までネット予約になって困っている。
- クラスや部活での決め事をラインで回されるのは困る。
- 他の家庭ではどのような決め事があるのか知りたい。
- 高一の息子。まさかここまでスマホを使う時間が増えるとは予想できなかった。
- 自分の写真をインスタグラムに載せるのが流行っていて、体操服まで載っているのは大丈夫かと心配になる。
- 知らない間に勝手にいろいろ使用しているので、もうどうすることもできない状態になってしまっている。
- 親世代よりもっと発展していけだろ情報社会。こちらが教えられる知識や情報が足りない気がして不安です。
- 依存症になってしまったのは主人です。子どもの手本にならないから止めるように伝えている。
- 学校で調べることに關しては、生徒にパットをその授業のときに貸し出してはどうか。
- 授業でタブレットが使われるのが心配（使って欲しくない）。